

総務委員会速記録第三号

2016年3月17日

出席議員 十五名

委員長 加藤 雅之君	おときた駿君	小磯 善彦君
副委員長 新井ともはる君	まつば多美子君	秋田 一郎君
副委員長 柴崎 幹男君	木村 基成君	清水ひで子君
理事 石川 良一君	大場やすのぶ君	欠席委員 なし
理事 徳留 道信君	近藤 充君	
理事 鈴木 隆道君	小山くにひこ君	

出席説明員

政策企画局	局長理事兼務 川澄 俊文君	総務局	局長 中西 充君
	次長理事兼務 潮田 勉君		次長 内藤 淳君
総務部長オリンピック・パラリンピック			総務部長 小暮 実君
	調整担当部長兼務 小池 潔君	選挙管理委員会事務局	局長 安藤 弘志君
青少年・治安対策本部	本部長 廣田 耕一君	人事委員会事務局	局長 藤田 裕司君
総合対策部長オリンピック・パラリンピック			任用公平部長 津国 保夫君
	調整担当部長兼務 廣瀬 秀樹君	監査事務局	局長 猪熊 純子君

本日の会議に付した事件

意見書について

予算の調査(意見開陳)

- ・第一号議案 平成二十八年度東京都一般会計予算中、歳出、債務負担行為 総務委員会所管分
- ・第二号議案 平成二十八年度東京都特別区財政調整会計予算
- ・第四号議案 平成二十八年度東京都小笠原諸島生活再建資金会計予算

付託議案の審査(決定)

- ・第二十八号議案 東京都青少年の健全な育成に関する条例の一部を改正する条例
- ・第二十九号議案 東京都知事等の給料等に関する条例の一部を改正する条例
- ・第三十号議案 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・第三十一号議案 東京都職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- ・第三十二号議案 東京都職員定数条例の一部を改正する条例
- ・第三十三号議案 東京都非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- ・第三十四号議案 市町村における東京都の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
- ・第三十五号議案 東京都区市町村振興基金条例の一部を改正する条例
- ・第三十六号議案 住民サービスの向上と行政事務の効率化を図るために住民基本台帳ネットワークシステムの都道府県知事保存本人確認情報を利用する事務等を定める条例の一部を改正する条例
- ・第三十七号議案 東京都人事委員会委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- ・第三十八号議案 東京都監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- ・第百四号議案 包括外部監査契約の締結について
- ・第百五号議案 東京都と神奈川県との境界にわたる町田市と相模原市との境界変更について
- ・第百六号議案 境界変更に伴う財産処分に関する協議について
- ・第百七号議案 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
- ・第百八号議案 都と特別区及び特別区相互間の財政調整に関する条例の一部を改正する条例

請願陳情の継続審査について

特定事件の継続調査について

石川委員 私は、都議会維新の党を代表して、当委員会に付託をされました平成二十八年度予算関係議案についての意見開陳を行います。

初めに、共通事項について申し上げます。

我が国は、デフレ経済からの脱却を大きな目標としており、金融緩和、財政出動を中心にして一定の成果が見えるところまで来たかに思われたわけでございます。しかし、中国経済のバブル崩壊の影響や、原油安を初め世界経済の不透明さも相まって、大きく足踏みをしております。

内閣府が発表しました二〇一五年十月から十二月期の国内総生産の速報値は、実質で前期比〇・四％の減、年率換算で一・四％の減となり、二四半期ぶりのマイナス成長となっております。個人消費や住宅投資の減少が主要因に思われます。また、各種世論調査を見ても、景気がよくなったと実感できない人の割合は七〇から八〇％に達しており、景気回復はいまだというのが実情といえるでしょう。

一方、東京都財政をめぐる状況を見ますと、大企業を中心とした企業収益の増や雇用環境の改善等が続き、都税収入は五年連続の増加となっております。しかし、都税収入は景気の変動に大きく左右されてきた過去のことからすれば、決して楽観視することはできません。国の不合理な地方法人課税の見直し動向など、税収にマイナスをもたらす要因であることから、常にその動向を注視し、情報発信をしていかなければなりません。

そのような中で、都の平成二十八年度予算は、世界一の都市の実現に向けた取り組みを加速化、深化させ、力強く前進をさせる予算となっており、東京都の長期ビジョンの二〇二〇年とその先の将来像の実現に向けての積極果敢な展開と、自己改革の推進と財政対応力の強化によって強固な財政基盤を構築するとしております。

今後、行政改革をさらに強化し、中長期的な視点に立って基金を活用しながら、強固な財政基盤につなげていこうとすることは評価をできるものと思っております。

一方、歳出面では、オリンピック・パラリンピックの開催の準備、進行する少子高齢化の対応、公共施設のファシリティーマネジメントの強化、都市防災力の強化、特に、最近顕著な子供の貧困対策は喫緊の課題であり、将来に禍根を残すことのないような対応が求められます。

こうした観点から、施策の効率性や実効性を検証し、自己改革に取り組むことが求められます。民間との連携による事業評価の実施を検討するなど、今後とも不断の見直しを行うことを要望いたします。

以下、各局別の事項について意見を申し上げます。

まず、政策企画局関係について意見を申し上げます。

一、ランドデザイン検討委員会の討議内容を都民に情報発信し、検討委員会は都民が傍聴できるようにすること。

一、ランドデザインは、世界一の都市東京像を具体化できるよう、英知を結集して計画化を図ること。

一、少子化対策としての結婚支援を福祉保健局案件に限定することなく、都全体を挙げてメニューをそろえて具体化をすること。

一、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、国家戦略特区を活用しながら、東京に世界から人、物、お金が集まるアジアヘッドクォーター特区などを強力に推進すること。

一、都市外交を進めるに当たっては、経費の削減に努めること。

次に、青少年・治安対策本部関係について申し上げます。

一、若年者支援対策として、ひきこもり等不適應の未然防止対策を推進し、実態調査の結果を広く都民に周知し、区市町村と連携をして対応すること。

一、渋滞解消のためのハイパースムーズ作戦を引き続き実施すること。

一、防犯に効果を上げているカメラの設置を推進し、地域防犯ボランティア等と連携をし、安心・安全の向上に取り組むこと。

一、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック開催を好機とし、区市町村や地元町会と連携しながら青少年の健全育成に努めること。

一、自転車の安全利用のため、安全教育の推進、放置自転車の解消、自転車盗難の未然防止に取り組むこと。

次に、総務局関係について申し上げます。

一、行政改革の長期的な指針を策定し、ゼロベースでの事業見直しに取り組むこと。

一、監理団体、報告団体を整理縮小し、透明性の高い効率的な行財政改革を積極的に進めること。

一、包括外部監査について、予算を増額し、さらに幅広い事業を対象に監査できるようにするなど、一層の充実を努めること。

また、監査によって示された意見や指摘内容が着実に実現されるよう努めること。

一、首都直下地震に備え、自衛隊、警察、消防、在日米軍等の各機関と連携するとともに、道府県や区市町村とも、実災害を想定した総合的な防災訓練や情報伝達訓練等を実施すること。

また、帰宅困難者への対応を強化すること。

一、都区制度においては、特別区の自立、自治権拡充に十二分に配慮しながら真摯に議論を進め、特別区の意見をよく聞きながら、今後ともさらなる分権に努めること。

一、多摩振興については、新たな多摩のビジョン行動戦略を着実に実施すること。

また、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックを活用した多摩振興の計画化を図ること。

続きまして、選挙管理委員会関係について申し上げます。

一、選挙の投票権が十八歳に引き下げられたことに伴い、若者の投票行動を促すPRを区市町村選挙管理委員会と連携して継続的に行うこと。

最後に、人事委員会関係について申し上げます。

一、東京都人事委員会勧告を出す上での民間給与実態調査において、事業所規模を五十人未満も対象とし、五十人以上百人未満の事業所の比率も高めること。

以上、意見を申し述べました。

健全財政を維持しながら、変化に対応した施策を力強く確実に実現していただくことを要望いたします。都議会維新の党の意見開陳を終わります。

石川委員 第二十九号、三十七号、三十八号議案についてでございます。

これらの議案は、東京都特別職報酬等審議会の答申を踏まえて、知事、副知事、人事委員会委員、監査委員等の特別職の報酬を〇・〇九％、月額千円を引き上げるものであります。

意見開陳でも申し上げましたけれども、我が国経済は、デフレ経済からの脱却を目指しておりますが、依然として予断を許さない状況が続いております。また、七割から八割の国民は、経済が改善をされ、景気がよくなったという実感が持てないと感じているわけでありまして。富が広く多くの都民、国民に行き渡っているといえる状況ではないわけでありまして。

特別職は、みずからの報酬を増額することに対して慎重であるべきものと考えます。よって、二十九、三十七、三十八号議案に反対するものであります。